

中学校 1年

球技 ゴール型（ハンドボール）

高槻市立第六中学校

教科

保健体育

単元名

球技 ゴール型（ハンドボール）

単元でつきたい力

（教科等でつきたい力）

- ・ハンドボールの基本的な動きや技能を身につける。
 - ・仲間とのちがいを理解し、ルールの工夫を考える。
- （学校図書館等の活用でつきたい力）
- ・自分に合った情報を取捨選択し、実際に活用する。
 - ・得た情報を根拠を示しながらまとめ、発信する。

本単元で育む主な情報活用能力

C－STEP4, D－STEP4
G－STEP4, H－STEP4

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開（全7時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (1時間)	〇オリエンテーション ・単元目標、流れ、評価、安全面、ルールの確認及び球技の歴史の学習。
第2次 (1時間)	〇ちがいを理解しながら、ハンドボールの基礎技能を習得する。 ・ボールを落とさずにつなぐにはどうすればいいか、ボールと目を合わせるためにどのような動きが必要なのかを考える。 ・相手の守りにくい攻め方について考える。
第3次 (1時間)	〇スポーツの違い探しからスポーツを楽しむ方法を見つける。（☆）（本時） ・スポーツのルールのちがい探しを学校図書館を活用して行う。 ・なぜそのようなルールが作られたか、そのルールがあることでどのような効果があるかを考える。
第4次 (1時間)	〇得点が取れるシュートの方法を見つける。 ・的あてシュート、簡易ゲームを行う。
第5次 (1時間)	〇全員がハンドボールの魅力を理解するためのルールを考える。 ・ハンドボールの魅力について考え、その魅力を全員が理解するためのルールを考えてゲームを行う。
第6次 (1時間)	〇様々な「ちがい」に対し、ルールの修正を加える。 ・教員が提示する「ちがい」に対し、修正したルールを提案し、全員が楽しむためにルールを修正したゲームを行う。
第7次 (1時間)	〇全員が楽しむためのルールでゲームに取り組む。 ・個人で考えたルールを交流し、決めたルールでゲームを行う。

本時のねらい

スポーツのルールのちがい探しで見つけたちがいについて、その理由を考え伝える。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (7分)	1. めあて、本時の流れの確認 2. 間違い探しのやり方の説明 ・ワークシートを配付し、スライドにて活動の説明を行う。	
展開 (38分)	3. グループで種目を選び、図書資料とタブレットを用いてスポーツのルールのちがい探しを行う。 ・グループでどんな種目について調べるか各自の役割を話し合って決める。 ・図書資料とタブレットでスポーツのルールについて調べ、ワークシートに記入する。 4. ルールのちがいはなぜ生まれたのか考える。 ・見つけたルールのちがいはどうして生まれたのか、そのルールによってプレーがどのようにやりやすくなったのかについて考える。 ・ちがいによって何がどう変わるのか考えて、ワークシートに記入する。 ・発表に向けて内容を整理する。 5. 調べた内容を全体で交流する。 ・クラスメイトの発表を聞きながら、ワークシートにメモをする。	・ワークシートに記入しやすいように見本をスクリーンに映す。 ・図書資料を用いる際の有効な点、注意点を事前に説明する。 ・U D スポーツ、パラリンピックに関する本を準備しておく。 ・発問をしながら、机間指導を行う。 ・ある程度記述が進んだら、発表に向けて内容を整理するよう全体に声をかける。
まとめ (5分)	6. ふりかえり ・ルールに修正を加えることにはどんな意味があるか、気付いたことをまとめる。 7. ふりかえりを全体で交流する。 ・記入した内容を発表する。	

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・学校図書館を活用して、体力、技能、障がいの有無にかかわらず、一人一人の違いを生かした課題や挑戦及びルールを工夫することなどを認め、共生の視点を踏まえてスポーツの楽しみ方を共有するための取組みを行った。



スポーツのルールについて調べている様子